

2014年5月29日

西友、2014年 社会貢献活動助成プログラムの助成先を決定 NPO 法人フローレンスの「障害児保育園 ヘレン」立ち上げを支援

合同会社西友では、社会貢献活動に取り組む団体の事業に対して助成を行う「社会貢献活動助成プログラム」を実施しており、2014年度の助成において、認定 NPO 法人フローレンス(東京都千代田区 代表理事 駒崎弘樹以下、フローレンス)が今秋に東京都杉並区に開園する、医療的ケアを必要とする障がい児を含む、中重度以上の障がい児を預かる「障害児保育園(注) ヘレン」の立ち上げにかかる経費の一部を助成することを決定しました。日本で初めての事業となる障がい児専門保育園の設立を支援することで、障がいの有無に関わらず全ての子どもが保育を受け、母親など保護者が働くことを選択できる社会づくりを目指すフローレンスの活動をサポートします。

「社会貢献活動助成プログラム」は、ウォルマート・ストアーズ・インクがグローバルで展開している社会貢献活動の方針に沿って、「女性の経済的自立支援」「食品寄付活動」「環境活動」「その他地域固有の活動」の4つの分野で、社会的な課題の解決に向けて活動を行っている団体に対して、西友が助成金を拠出するものです。フローレンスに対しては、「女性の経済的自立支援」を目的として、2011年度から2013年度まで3年間にわたり、本プログラムによる活動支援を継続しています。これまで、フローレンスが提供する低収入のひとり親世帯向け病児保育事業「寄付によるひとり親支援プラン」の提供支援を行うほか、首都圏周辺での「訪問型病児保育」サービス展開開始のための支援も行っています。

2014年度、西友がフローレンスに行う助成は、「障害児保育園 ヘレン」の設立に向けて採用される看護師や保育士の研修期間中の人件費などに充てられます。「障害児保育園 ヘレン」では、通常保育園が預かることができない未就学の障がい児を1日10時間以上の長時間受け入れる予定で、一人ひとりにあわせ安心・安全な保育を実施するためにも、医療ケアを行う看護師はもちろん、保育士にも障がい児保育に関する専門知識や技術の習得が不可欠です。西友では、立ち上げに必要なスタッフ向けの研修を中心に支援を行うことで、今秋のスムーズな開園と安全な運営体制の整備をサポートします。

今回の助成による「障害児保育園 ヘレン」設立に関して、フローレンス代表理事 駒崎弘樹氏より以下のコメントが寄せられています。

「西友様より日本初・障害児専門保育園の立ち上げにご支援を賜り、深く感謝申し上げます。本事業は障害のある子どもを受け入れてくれる保育園がなく、働くことができなかった一人の母親との出会いにより始まりました。現在、新生児医療の進歩により重篤な病気の子どもの助かるようになった一方、重度の障害児も増加しています。さらに共働きの増加に伴い障害児保育のニーズは高まっているものの、

中重度の障害児を長時間預かれる施設は未だ整備されていません。これからも西友様をはじめ多くの方にご協力いただきながら、全国に先駆けるモデルとして、多くの障害児家庭の子育てと仕事の両立を支援していきたいと考えております。」



フローレンス 駒崎氏(左)より、今回の助成に関する感謝状を受け取る

執行役員シニア・バイス・プレジデント 企業コミュニケーション部担当 金山 亮(右)

なお、「障害児保育園 ヘレン」の詳しい事業概要は、5月31日(土)にフローレンスがオープンするウェブサイトでご覧いただけます。<http://www.helen-hoiku.jp>

西友では、今後も、環境・社会貢献活動を始めとするサステナビリティ(持続可能性)活動を広く多面的に展開してまいります。詳細については、西友ホームページ内「サステナビリティ・ページ」をご覧ください。

<http://www.seiyu.co.jp/company/sustainability/>

(注)フローレンスでは、障害を個人の側にある差別されるものではなく、社会の側に原因があり、社会の制度を変えることで克服すべきものとする『社会モデル』の見地から、「障害児」という漢字表記を用いています

この件に関するお問合せ

合同会社西友 企業コミュニケーション部 広報室 TEL03-3598-7760

〈ご参考資料〉

■西友とフローレンスのこれまでの協働について

2011年12月～：「ふくしまインドアパーク」を通じた被災地支援

震災後の2011年12月に、フローレンスの要請を受けて、西友が運営する「ザ・モール郡山」(福島県郡山市)内に「ふくしまインドアパーク」を設置。放射能の影響により屋外で遊ぶことのできない子どもたちに「屋内公園」を提供しています。保育士資格を持つ施設スタッフが常駐するほか、定期的に遊具の入れ替えを行い、いつでも安心して楽しく遊ぶことのできる場所となっています。2014年5月時点で、累計3万人の子どもたちが来場しています。

2012年1月～：ひとり親家庭に対する病児保育サポート

「社会貢献活動助成プログラム」の助成の一つとして、「女性の経済的自立支援」を目的に、2012年1月より、フローレンスが提供する、低収入のひとり親世帯向け病児保育事業「寄付によるひとり親支援プラン」の提供支援を行っています。この助成により、これまでに、ひとり親世帯約70世帯に対して、2年間の病児保育サービスが提供されています。母子家庭が利用者のほぼ全てを占めるこのサービスにおいて、ひとりで子育てを行う女性が安心して働けるようサポートしています。2012年7月からは、同プランの提供対象世帯の更なる拡大を目的に、店頭での「病児保育募金」も実施しています。

2013年7月～：「訪問型病児保育」サービス提供地域の拡大支援

「社会貢献活動助成プログラム」の助成の一つとして、「女性の経済的自立支援」を目的に、2013年7月より、フローレンスが提供する「訪問型病児保育」サービスの提供地域拡大を支援しています。同月以降、埼玉県川口市、東京都府中市、西東京市、千葉県船橋市へのサービス展開が実現しています。



「ふくしまインドアパーク」を通じた被災地支援



「病児保育」への助成を通じた女性の経済的自立支援

■「社会貢献活動助成プログラム」について

「社会貢献活動助成プログラム」は、ウォルマート・ストアーズ・インクがグローバルで展開している社会貢献活動の方針に沿って、「女性の経済的自立支援」、「食品寄付活動」、「環境活動」、「その他地域固有の活動」の4つの分野で、社会的な課題の解決に向けて活動を行っている団体に対して、西友が助成金を提供するものです。詳細については、西友ホームページ内「社会貢献活動への助成」ページをご覧ください。

<http://www.seiyu.co.jp/company/sustainability/activity/community/page1.html>

■認定NPO法人フローレンスについて

認定NPO法人フローレンスでは、2005年から「訪問型病児保育」サービスを展開し、現在、東京都23区周辺をはじめ、神奈川県、埼玉県、千葉県の一部エリアにおいて、3,000世帯以上の「子育てと仕事の両立」を支援しています。2008年からは企業・個人からの寄付を基にした、ひとり親世帯を対象に2年間の病児保育を提供する「ひとり親支援プラン」も提供しています。